

東京工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	卒業研究
科目基礎情報					
科目番号	0001		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 16	
開設学科	情報工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	16	
教科書/教材					
担当教員	小嶋 徹也				
到達目標					
新規性があり普遍的価値のある試作品，技術報告，教材などの成果を挙げること。 基準以上の構成力，文章力がある論文を執筆すること。 研究成果について口頭発表できること。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
新規性があり普遍的価値のある試作品，技術報告，教材などの成果を挙げること。	卒業研究として十分な研究成果が得られている				卒業研究として研究成果が不十分である。
基準以上の構成力，文章力がある論文を執筆すること。	卒業研究として基準以上の構成力，文章力のある論文が執筆できている。				卒業論文の構成力,文章力が不十分である。
研究成果について口頭発表できること。	研究成果の報告として十分な口頭発表ができている。				卒業研究の成果報告として口頭発表の内容が不十分である。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	学生個人別に異なる具体的テーマ（工学上，教育上の問題発見，検討，解決策の提案，試作，評価）を学生の希望と適性に合わせて与え，学生が課題に取り組むことにより，これらに対する実践能力，論文作成能力，発表能力を養わせるよう指導する。				
授業の進め方・方法	以下の手順で進める。 (1) 研究室への正式配属（原則として「情報工学ゼミナールⅡ」に準じる） (2) 研究テーマの決定 (3) 研究計画の立案 (4) 文献調査 (5) 予備実験 (6) 実験，試作，評価など，実際の研究実施 (7) 成果のまとめと論文の執筆 (8) 研究成果の発表と提出 《補足》 ・学科公開，公開講座，くぬぎだ祭などにおいて，訪問者へ研究内容の説明などを行なう（7月以降随時）。 ・中間報告を7月下旬，中間発表を12月に予定している。 ・最終発表を1月下旬，論文提出及び卒業研究審査会は2月に予定している。				
注意点	未知の課題に取り組むことになるため，単に指導されたことを実行するだけでなく，自ら作業量を見積もり，スケジュールを設定し，新たな視点で主体的に調査，検討，試作，評価する姿勢が必要である。また，時間外における学科公開などにおける研究紹介も課題に含まれる。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			

		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	研究成果	口頭発表技術	卒業論文	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	20	30	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	50	20	30	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0